

広報 あなたと町政を結ぶ



かわじま

1992

10

No. 391

スポーツの秋
五千人が楽しむ

今年で二十四回目を迎えた恒例の町民体育祭が、十月十日の体育の日に総合グラウンドで開催されました。今回は、町制施行二十周年記念大会として実施され、男女各二十人ずつでリレーする二十周リレーが行われるなど、子どもからお年寄りまで約五千人の皆さんがスポーツの秋を満喫しました。



●主な内容

- 一般会計に5億4,200万円を追加(9月定例議会).....②-③
- まちの家計簿 平成3年度決算.....④-⑤
- 点検を重ねて築く 火災ゼロ(秋の火災予防運動).....⑥-⑦
- 中央文化展・「全日本文字コンテスト」に参加(川島中).....⑧-⑨
- 生涯学習コーナー.....⑩-⑪
- まちの話題・町民文芸.....⑫-⑬
- くらしの情報.....⑭-⑮
- けんこう.....⑯

11月の役場
土曜開庁日

14日・28日

10月1日の人口と世帯

総人口	23,057人
前月との差	6人増
男	11,593人
女	11,464人
世帯数	5,918世帯
前月との差	1世帯増

けんこう

乳幼児相談

とき 11月4日(水) 午前9時30分から11時まで
対象 生後1か月から小学校入学まで
担当 保健婦

1歳6か月健診

とき 11月2日(月) 午後1時30分から2時まで
対象 平成3年4月から5月生まれの子と前回受けられなかった子
担当 医師・歯科医師・保健婦

3歳児健診

とき 11月30日(月) 午後1時30分から2時まで
対象 平成元年10月から11月生まれの子と前回受けられなかった子
担当 医師・歯科医師・栄養士・家庭児童相談員・保健婦

胃がん検診

とき 11月25日(水)・26日

保健センター
☎97-1811
(内50)

(木)・27日(金)・12月6日(日)
受付時間 午前7時45分から10時まで
対象 40歳以上のかた(胃切除のかたは除きます。)
費用 500円
申込み 11月2日(月)から13日(金)までの午前中に、保健センターへ直接電話で

母親学級

とき 11月11日(水)・12日(木)・13日(金)
午前9時30分から正午まで
内容 妊娠中の栄養、歯の衛生、妊娠婦体操と分べん準備、新生児の衣類とよく浴、その他
申込み 保健センターへ直接電話で

百日咳・ジフテリア・破傷風予防接種(第1期1回)日程

実施日	時間	会場
11月16日(月)・20日(金)・24日(火)	午後1時30分から2時まで	保健センター
該当者 平成元年11月1日から平成2年10月31日までに生まれた子 2歳以上4歳未満でまだ受けていない子 受けられない子 ①三種混合・日本脳炎・インフルエンザ予防接種後2週間未満の子 ②はしか・水ぼうそう・おたふく・風しんにかかり、治って1か月未満の子、または予防接種後1か月未満の子 ③ひきつけをおこして1年未満の子 当日は、母子手帳、問診票を持参してください。なお、12・1・2月にも実施しますので、11月に受けられなかった子は、通知票を持って12月から受けてください。 (第1期1回接種後3週間から8週間の間隔で3回受けてください。)		

川島中の人文字コンテストの取材に出かけました。地上からでは、どんな作品を作っているのか見当もつきません。にもかかわらず、一千四百人もの人たち一人ひとりの配置や動きが正確に決められていて、一糸乱れずこれに従っていました。これらの企画のために、担当の先生がたは連日連夜の会議だったとか。協力した保護者の皆さんも含め、まさに学校ぐるみで完成させた感動の作品です。

編集室

ホクロのがん
ホクロは、小麦色の肌のもととなるメラニン色素を作る細胞がかたまりになったものです。ホクロのがんは、他のがんに比べてやっかいなものです。



ホクロのすべてが、がんになるわけではありませんが、いつたり傷をつけたりすると、それが原因でがんになることがあります。がんになりやすいホクロの部位は、足の裏やつめの下、頭髪の地肌などです。ホクロのがんは、必ず兆候が現れますので、色や大きさに注意して変化を早く見つけることがたいせつです。必要以上に恐れることはありませんが、いたずらにいじることはよくありません。

お子さんの写真を募集しています。簡単なコメントを添えて、秘書広報係へ。

元気です



利根川 梓ちゃん(2歳9か月)

南園部

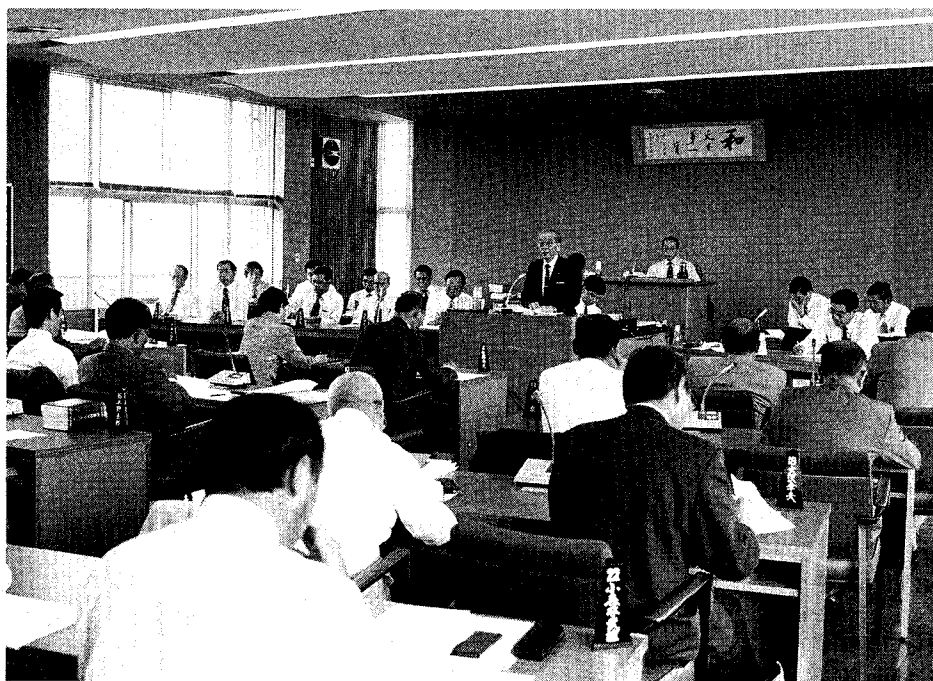
利根川 勉さん・貴子さんの長女

「近所に同じ年ごろの子がいないので、ひとつ違いの弟と遊んでいることが多いですね。もうすぐ七五三を迎えますが、着物を着るのが楽しみなようで、自分で口紅をつけたりして、ちょっとおませなところもあります。」

保健婦だより

一般会計に五億四千二百万円を追加

平成三年度決算・教育委員会委員の任命など



9月の定例議会が、9月10日から24日までの会期15日間で行われました。この議会では、平成4年度一般会計補正予算、平成3年度決算の認定、教育委員会委員の任命など18件が審議され、すべての議案が原案どおり可決されました。

主な内容は次のとおりです。

9月定例議会

- ▼生涯学習推進のまち宣言
平成元年度から取り組んでいる生涯学習推進事業について、町制施行二十周年を契機にさらに充実、発展させるため宣言するものです。
- ▼ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の制定
ひとり親家庭等に対して医療費の一部を支給することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ろうというものです。
- ▼下水道条例の一部改正
日本下水道協会埼玉県支部が、県内統一の排水設備工事責任技術者試験を実施することに伴い、排水設備基準を統一するため改正するものです。
- ▼比企広域市町村圏組合規約の一部改正
比企広域市町村圏組合事務所の移転による所在地の変更に伴い改正するものです。
- ▼平成四年度一般会計補正予算(第二号)
算(第二号)
歳入歳出それぞれに五億四千二百万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ七十五億四千三百三十八万八千円とするものです。
主な内容は次のとおりです。
〔歳入〕
○町税七千二百二十二万五千円
○地方交付税三億五千九百万円
○県支出金九百九十五万八千円
○繰越金九千九百四十九万二千円
〔歳出〕
○平成の森公園(仮称)整備基金積立金追加一億円
○臨時財政特別債基金積立金追加一億七百万円
○地域福祉基金積立金六千万円
○清掃センター修繕費追加二千七十一万六千円
○舗装道路補修工事等追加五千万円
○土地開発基金繰出金追加九千二百万円
▼平成四年度国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれに四千九百二十八万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ九億一千八百四十四万四千円とするものです。

▼平成四年度下水道事業特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれに二千八百六十七万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ五億七千六百八十八万八千円とするものです。

▼平成三年度会計決算の認定

平成三年度の一般会計、国民健康保険特別会計、学校給食費特別会計、水道事業会計、下水道事業特別会計、老人保健特別会計の各決算が認定されました。

詳しい内容は、四・五ページに掲載してあります。

▼工事請負契約の締結

町道一四号線道路改良工事(第一工区その二)の請負契約を次のとおり締結するため、議決を求めたものです。
(金額)九千二百九十万六千円

〔契約先〕(株)利根川建設

▼教育委員会委員の任命

九月三十日で任期満了となる教育委員会委員に、川島町

大字中山一一九八番地・永井隆明氏、川島町大字出丸下郷四〇八番地・鈴木茂文氏の両氏を再任するため同意を得たものです。

▼議提 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について

学校教育に重要な役割を担っている学校事務職員、栄養職員の給与費の国庫負担分を除外することは、義務教育費国庫負担制度の目的である教育の機会均等と、その水準の維持向上を図ることに反するとともに、自治体財政に大きな影響を与えることになるため、学校事務職員、栄養職員の給与費を国庫負担から適用除外しないことを求める意見書を国及び県に提出するものです。

▼議提 第十一次道路整備五箇年計画の推進に関する意見書の提出について

道路は、活力ある地域社会の形成、豊かさやゆとりの実感できる生活大国の実現を図るうえで、最も重要な役割を果たす施設であるにもかかわらず、道路予算の現状は極めて不十分であるため、第十一

次道路整備五箇年計画の総投資規模七十六兆円の確保をはじめとした、道路整備財源の充実等を求める意見書を国に提出するものです。

▼請願

◎学校事務職員・栄養職員の給与費を国庫負担から適用除外しないことについて、国及び関係行政機関に対し意見書の提出を求める件

国は、国庫財政難を理由に義務教育費国庫負担の制度から学校事務職員・栄養職員の給与費の国庫負担分(半額)を適用除外しようとしている。もし、このようなことが行われた場合、地方自治体の財政がますます圧迫されるとともに、父母の教育費負担増はいっそう強いものになることがあきらかなため、学校事務職員・栄養職員の給与費を国庫負担から適用除外しないことについて、国及び関係行政機関に対し意見書を提出してはしい旨、川島町教職員組合小保五三夫氏・岡部正雄氏外百六十二人から請願がありました。

この件は、審査の結果、採択されました。

平成五年一月からひとり親家庭等に医療費の一部が支給されます

平成五年一月から、母子家庭・父子家庭・父または母が障害者である家庭などの皆さんが医療保険制度で医療にかかった場合、支払った医療費の一部が町から支給されることになりました。

支給対象者

母子家庭・父子家庭などの十八歳に達した日の属する年度の三月末日までの児童及び二十歳未満で障害のある児童と、それぞれの母または父若しくはその養育者(ただし、一定額以上の所得があるときは支給されません。)

支給の範囲

入院・通院にかかわらず、医療機関にかかったときの医療保険制度における医療費の自己負担額が対象になります。ただし、通院は一月につき九百円、入院は一日につき六百元は受給者の自己負担となります。

支給を受けるには

あらかじめ、町から「受給

者証」の交付を受け、「支給申請書」により町に申請し、支給を受けていただくことになります。

なお、「受給者証」の交付を受ける場合、次の書類を添えて福祉課で申請してください。

- ひとり親家庭等医療費受給者証交付申請書(福祉課に用意してあります。)
- 健康保険証
- ひとり親家庭等認定調書(福祉課に用意してあります。)
- 戸籍謄本または抄本
- 世帯全員の住民票の写し
- 所得証明書
- 児童扶養手当の受給者
- ひとり親家庭等医療費受給者証交付申請書
- 健康保険証
- 児童扶養手当証

※平成五年一月から支給を受けるには、十二月三十一日までに福祉課で申請してください。

詳しくは、福祉課福祉係 ☎ 九七一一八二一(内二八)へ。

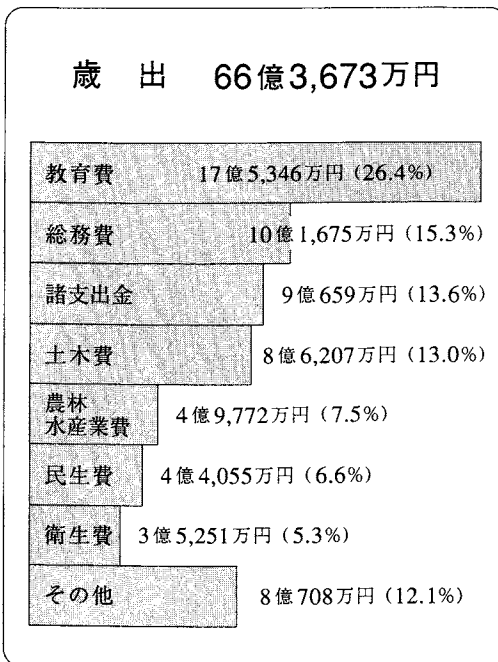
まちの家計簿

平成3年度決算

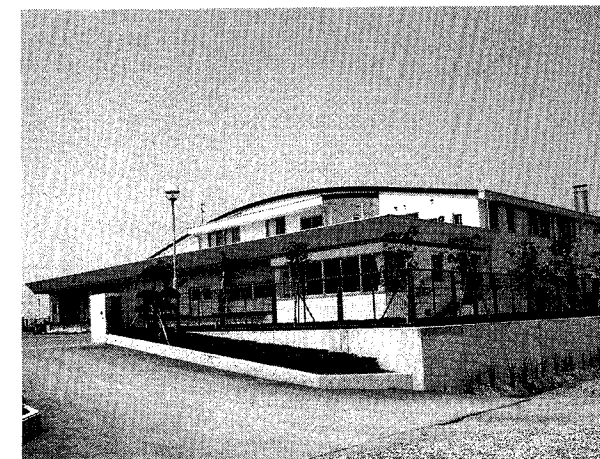
こう使われました **66億**

町民1人当たりに使われたお金(289,738円)

諸支出金	土木費	衛生費	総務費
			
39,578円	37,635円	15,390円	44,388円
その他	教育費	農林水産業費	民生費
			
35,235円	76,550円	21,729円	19,233円



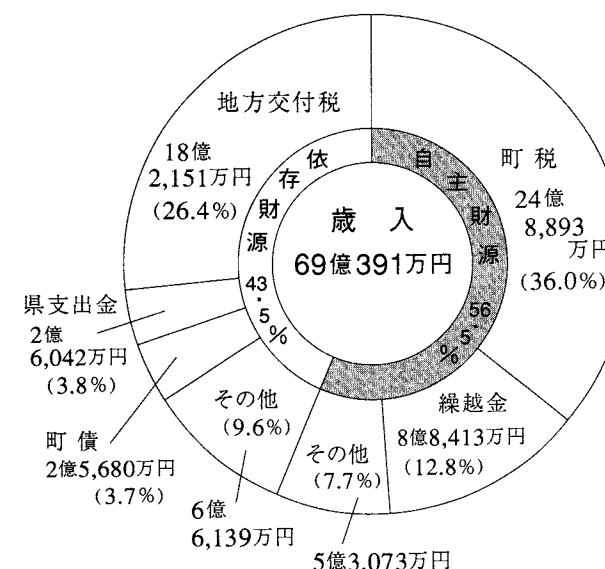
3,673万円



平成3年度の決算が、9月の定例議会で認定されました。

決算は、福祉の向上や生活環境整備などのまちづくりのために、予算がどのように使われたかを表わす町の家計簿です。

皆さんの納めた税金や国からの地方交付税などがどのくらい入り、どのように使われたのかそのあらましをお知らせします。



歳入
自主財源が56.5パーセント

歳入の総額は、六十九億三千六百七十三万円で、前年度に比べて十八億二千二百十九万円、三七・八割の増となっています。

歳入のうち、町税の二十億八千八百九十三万円で、四億八千八百九十三万円で、昨年より一〇・五割増となり、全体の三六・〇割を占めています。次に多いのが地方交付税の十八億二千二百五十一万円で、全体の二六・四割を占めています。

歳入のうち、町独自で調達できる「自主財源」は五六・五割、町独自で調達できない「依存財源」が四三・五割となっています。

歳出
教育施設がさらに充実

歳出の総額は、六十六億三千六百七十三万円で、前年度に比べて十八億二千二百十九万円、三七・八割の増となっています。

歳出のうち、教育費の十七億五千三百四十六万円で、全体の二六・四割を占めています。次に多いのが土木費の八億六千二百〇七万円で、全体の一二・八割を占めています。

また、最も大きな伸び率を示したものは諸支出金で、昨年に比べて六億二千二百四十六万円、二一・八・〇割増加しました。これは、将来控えている大きな事業に備え、基金への積み立てが増えたことによるものです。

歳出の主なものは次のとおりです。

【総務費】広報「かわじま」発行に三百四十七万円、交通安全対策費に一千九百十九万円、町・県議会議員選挙費に八百三十五万円

【民生費】重度心身障害者医療費給付金に一千二百七十四万円、老人医療費給付金に一千三百三十五万円、児童手当給付金に二千七十万円、高齢者生きがい対策事業に三百六十二万円

【衛生費】総合健康診断に一

特別・企業会計決算

国民健康保健特別会計	
歳入	9億3,757万円
歳出	8億7,932万円
学校給食費特別会計	
歳入	1億3,309万円
歳出	1億3,281万円
下水道事業特別会計	
歳入	6億914万円
歳出	5億9,707万円
老人保健特別会計	
歳入	8億351万円
歳出	7億8,853万円
水道事業会計	
○収益的収入及び支出	
収入	4億2,091万円
支出	3億7,754万円
○資本的収入及び支出	
収入	3,767万円
支出	2億5,878万円

千六十九万円で、小型合併処理浄化槽設置整備補助金に二千七百万円、ごみ処理事業に一億二千四百九十九万円、し尿処理費に七千七百七十七万円

【農林水産業費】美しい村づくり推進事業に六千七百二十四万円、農道改良工事に九千七百十四万円、かんがい排水事業に四千五百二十二万円

【土木費】町道一四号線改良工事に一億四千五百七十七万円、桜づつみモデル事業に四百三十二万円、圏央道インターシテイプラン推進事業費に七千七百七十七万円、平成の森公園基本設計等に三千五十二万円

【消防費】常備消防負担金に二億百三十五万円、非常備消防費に三千九十六万円

【教育費】八ッ保小学校舎大規模改造工事に九千七十一万円、川島中プール建設費に一億五千三百七十八万円、西中学校設計等に六千二百三十万円、生涯学習推進事業費に七百二十一万円、学校給食センター建設費に六億五千五百三十五万円

税負担の状況

町民一人当たりが負担した町税は、十萬八千六百五十八円、使われたお金は二十八萬九千七百三十八円で、皆さんが町に納めた税金の約二・七倍のお金が使われたこととなります。

なお、特別・企業会計は次のとおりです。

火の用心

7つのポイント

1 寝たばこ、
たばこの投げ捨てはしない

吸がらは必ず灰皿へ。喫煙場所を設け、灰皿に水を入れておく。歩行中の喫煙は絶対しないこと。

2 子どもには
マッチやライターで遊ばせない

子どもの目につくところに、マッチやライターを置かない。

3 風の強いときにたき火をしない

たき火をするときは、絶対にその場をはなれない。周囲の安全確認と水の用意を。

4 天ぷらを揚げるときは、
その場を離れない

その場を離れるときは、必ず火を消してから。(弱火にして離れる人が多いが、食用油は350度程度になると自然発火する。)

5 家のまわりに
燃えやすいものを置かない

新聞紙など燃えやすいものを家のまわりに置かない。空き家、車庫なども要注意。

6 ふろの空だきをしない

点火するときは、水が入っているかどうか必ず確かめる。浴槽の栓は手で完全に締める。

7 ストープに
燃えやすいものを近づけない

カーテンの近くでストープを使ったり、ストープの上部で洗濯物を干したりしない。



日ごろからの点検が、落ち着いた行動にも

ている川越地区消防組合管内では、九月末現在で九十三件の火災が発生しました。
発生原因は、こんろ十四件、たばこ十四件、ストーブ五件などとなっています。こんろ火災がトップになっていますが、天ぷら油を処分するために凝固剤を入れて加熱中、その場を離れて火災になるケースが最近多いようです。
火災を防ぐのは、一人ひとりの「火の用心」の心構えです。常に防火の意識を持ち、もう一度身の回りのチェックをしてみましょう。

第五回

自衛消防隊

消防操法競技大会

川越地区消防組合管内の事業所等の自衛消防隊が、消火栓操法やポンプ車操法など日ごろの訓練の成果を競います。
とき 十月二十八日(水)
午前九時から午後三時まで
※雨天の場合、十一月十一日(水)
ところ 丸広百貨店東側駐車場

11月22日

サイレン吹鳴

消防特別点検の実施に伴い、次のとおりサイレンを吹鳴しますので、ご協力をお願いいたします。

とき 十一月二十二日(日)

午前六時

実施方法 十五秒鳴らし、六秒休みを三回連続

消防テレホンサービス

川越地区消防組合では、火災の発生場所や状況について、テレホンサービスを行っています。

☎ 二三一〇七〇〇

秋の火災予防運動

点検を重ねて築く火災ゼロ

11月9日～15日

火災が最も多くなる季節を迎え、今年も十一月九日から十五日までの七日間にわたり、秋の火災予防運動が実施されます。今回は、一人ひとりが身の回りの防火点検から取り組もうと「点検を重ねて築く火災ゼロ」を統一標語に実施されます。この運動を契機に、ともすると忘れがちな火災に対する警戒心を呼び起こし、もう一度防火について考えてみましょう。

九分に一件の割合で
火災が発生

今年の六月までに全国で発生した火災件数は、二万八千七百九十七件で、昨年同期に比べて六・五割の減少となっています。しかし、これを一日当たりの出火件数で見ると、約百五十八件となり、約九分一件の割合で火災が発生していることになります。

この出火件数を火災種別ごとにみると、建物火災が全体の六割以上を占めて最も多く、次いで車両火災、林野火災の順となっています。また、これらの火災で亡くなったかたは一千八十五人にものぼり、一日当たり六人の尊い命が失われたこととなります。特に、高齢者や乳幼児などのいわゆる災害弱者が大きな割合を占めています。

いっぽう、川島町を管轄し

11月9日は

「二一九番の日」

十一月九日は「二一九番の日」です。

消火活動や救急救助活動は一分、一秒を争う時間との勝負です。消防本部では、皆さんの通報によって、最も近い消防署から消防車、救急車などの車両を出動させます。

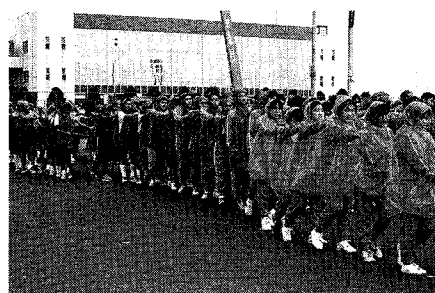
もし、皆さんがあわてて、場所等を正しく伝えられなければ、消防車両の到着が遅れてしまい、重大な結果につながることもあります。皆さんの正しい通報が、迅速・的確な消防活動につながります。

通報要領

- 1 火災・救急の別
「火事です」または「救急です」とはっきり言う。
- 2 住所は正しく、目標を
目印となる店の名前などをわかりやすく伝える。
- 3 状況を正確に
火災や事故の状況を正確に伝える。
- 4 通報者の氏名・連絡先
などを明らかにする。



作品のラストシーン(ヘリコプターから撮影)



みんなの呼吸はぴったり



お父さん、お母さんも真剣



「川中 友情 西中」の人文字

来年四月の二校分離を目前に控えた川島中が、日本テレビの「全日本文字コンテスト」に参加することになり、その収録が十月四日に総合グラウンドで行われました。

これは、大規模校としての川島中最後の思い出づくりをしようと生徒の提案で始まったもので、作品も全校生徒から募集した絵コンテをもとに

決定、この日の本番に向け練習を積み重ねてきました。挑戦した作品は「ロッククライミング(岩登り)」で、がけを登る人が途中で転落しそうになり、上から別の人が手を伸ばして助けるという動きのある大作で、当日は、千百三十五人の生徒のほか、二百四十人の保護者、五十人の教員が心を一つにして作り

川島中「全日本文字コンテスト」に参加

分離を前に最後の思い出づくり

上げました。また、最後に生徒が「川中 友情 西中」の人文字を作り、末永い友情を誓い合いました。

このコンテストの様子は、日本テレビの木曜スペシャルで来年の二月上旬に放映される予定です。川島中の生徒だからこそできたすばらしい作品です。皆さんも、ぜひご覧ください。

中学生生活最高の思い出



川島中3年 原口美香子さん

練習は暑くてたいへんでしたが、全校生徒の心を一つにして作り上げた喜びで、涙が出るほど感動しています。目標に向かって力を合わせれば、どんなことでもできるんですね。中学校生活最高の思い出になりました。

川中生としての最後の行事



川島中2年 北村哲也くん

上半身裸になって、ロッククライマーの左腕を担当しました。来年からは西中に通いますが、川島中の生徒として取り組む行事はこれが最後かと思うと、完成したときはとても感激しました。今日のことは、一生忘れません。

町制施行20周年記念

第12回 中央文化展



昨年の中央文化展会場にて

文化講演会

と き 10月31日(土) 午後1時30分から
ところ 広域福祉会館ホール
講 師 東武動物公園園長・西山登志雄氏
演 題 「動物から学ぶくらしの知恵」
入場料 無料

大人と子どもの文化祭

と き 11月3日(火) 午後1時から
ところ 広域福祉会館ホール
内 容 日ごろの学習成果の発表

菊花展

と き 11月4日(水) から9日(月)まで
ところ コミュニティセンター前特設会場
内 容 菊の花の展示

町制施行20周年記念・第12回中央文化展が、11月3日(火)から9日(月)までの7日間にわたり、コミュニティセンターを中心に開催されます。

会場では、皆さんから出品された絵画・写真・俳句など、たくさんの作品が展示されるほか、楽しい催し物がいろいろ計画されています。文化の秋、家族そろってぜひお出かけください。

詳しくは、教育委員会社会教育課(☎97-1611)へ。

茶道教室

と き 11月3日(火) 午前10時から午後4時まで
ところ コミュニティセンター和室
費 用 100円

第4回ふるさとかわじま再発見コンテスト

と き 11月3日(火)から9日(月)まで
ところ コミュニティセンター
内 容 「かわじまの自然と文化」をテーマに写真・絵画・俳句のコンテスト

《図書館だより》

● 催物案内 ●

＜名作映画会＞

と き 11月14日(土) 午後6時30分から8時40分まで

ところ 町立図書館視聴覚室

内 容 「黒い雨」

対 象 中学生から一般

＜おはなし会＞

第1回 (4歳以上)

と き 11月8日(日) 午後2時から3時まで

ところ 町立図書館視聴覚室

内 容 昔話の語り、紙芝居ほか

第2回 (3歳以下)

と き 11月22日(日) 午後2時から2時30分まで

ところ 町立図書館視聴覚室

内 容 絵本の読み聞かせ、紙芝居ほか

＜古典文学講座＞

と き 11月21日(土) 午後1時30分から3時30分まで

ところ 町立図書館視聴覚室

内 容 「奥の細道」前後 第6回

11月の移動図書館巡回日

と き	と こ ろ
4日(水)・17日(水)	久保集会所 (12:50~13:20) マルキストア (13:40~14:10) 伊草小 (14:30~15:30)
5日(木)・19日(木)	八幡団地集会所 (13:00~14:00) 中山小 (14:30~15:30)
10日(火)・25日(火)	角集落センター (12:50~13:20) 馬場集落センター (13:40~14:10) 出丸小 (14:30~15:30)
12日(木)・26日(木)	芝沼集会所 (13:40~14:10) 長楽集落センター (12:50~13:20) 小見野小 (14:30~15:30)

図書館カレンダー<11月>

日	月	火	水	木	金	土
1	②	③	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	16	17	18	19	20
22	⑳	㉑	㉒	25	26	27
29	㉓					

図書館利用案内
町立図書館の開館時間は、午前10時30分から午後5時30分まで。土・日曜日は、午前10時から午後5時までです。お問い合わせは、町立図書館(☎九七〇三〇)へ。
(○印は休館日)

BOOK

BOOK

BOOK

BOOK



わたしと習字



中山 藤田政枝さん

レンズを通して得たもの

以前から、生涯学習の講座に参加したいと思っていましたが、機会に恵まれ、写真教室に参加してみました。カメラについての知識や技術に乏しく、不安と期待でい

っぱいでしたが、分かりやすく書かれたテキストを基に、講師の先生が丁寧に、ときには冗談も交えて教えてくださり、楽しく学習することができました。

三回の講義の後に行われた撮影会では、構図を決めて次々とシャッターを切る人だらやましく、わたしは被写体をレンズの中にどう納めたらよいのか、迷ってばかり。撮

書道講習会

町書道愛好会では、初心者向きの実技指導を行います。希望者は、練習用具持参のうえご参加ください。なお、書道入門基礎知識についての解説も行われます。

と き 十一月八日(日)

午後一時から

ところ コミュニティセンター
指導者 飯野幽碩先生

詳しくは、教育委員会社会教育課(☎九七一六二一)へ。

二十四時間「マラソン」ソフトボール大会

町ソフトボール連盟では、連盟の発足二十周年並びに町

制施行二十周年を記念して、二十四時間にわたって試合を続ける「マラソンソフトボール大会」を行います。

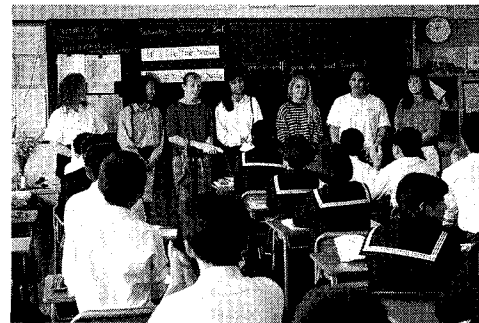
と き 十一月二十二日(日) 正午から二十三日(月)正午まで

ところ 総合グラウンド

募集チーム 四十八チーム
申込み 十一月十日(火)まで

申し込み・詳しいことは、町ソフトボール連盟事務局の清水・渡辺(☎九七一八一)へ。

出合い ふれ合い 学び合い



◀教壇に立って英語の授業



▶郷土芸能もたんのう

生涯学習 コーナー

青少年の国際交流

アメリカ人留学生が町を訪問

東京国際大学の日本研究プログラムの研修生として来日しているアメリカ人留学生など二十二人を迎え、十月三日・四日の二日間、青少年の国際交流が行われました。

当日は、川島中の生徒との交流や歓迎パーティー、町内の一般家庭でのホームステイなどが行われ、二日間にわたり有意義な国際交流の場になりました。

町に到着した留学生は、町長を表敬訪問した後、中学校を訪れ、各クラスに分かれて授業を見学しました。

英語の授業では、留学生が教壇に立って臨時の英語講師。最初のうちは、留学生が質問する英語の発音に生徒が戸惑う光景も見られましたが、徐々に緊張もほぐれ、生徒が英語で質問するなど打ち解けた雰囲気での交流を深めました。

午後からは、ホストファミリーとの対面式を兼ねた歓迎パーティーに出席、川島中ブラスバンド部の演奏や、郷土芸能の伊草獅子舞をたんのうした後、各ホストファミリー宅に招かれ、楽しい交流の一夜を過ごしました。

町では、国際化の流れに対応して、積極的に国際交流事業に取り組んでいます。次の機会には、皆さんもホストファミリーに挑戦してみませんか。

グラウンドゴルフ教室

と き・ところ

十一月七日(土)・八ッ保小学校庭 十一月十四日(土)・小見野小学校庭 いずれも午後二時から四時まで

対象 一般

申込み 当日会場

パッチワーク教室

と き 十一月十一日(水)

から毎週水曜日(全六回)

午前10時から正午まで

ところ コミュニティセンター

募集人員 三十人

費用 三千円(教材費)

申込み 随時受け付け

比企歴史のむら探訪

古墳めぐり

と き 十一月十三日(金)

午前八時十分コミュニティセンター集合

ところ 稲荷塚古墳・歴史資料館ほか(バス利用)

募集人員 三十人

費用 無料

申込み 十一月二日(月)から

いずれも詳しくは、教育委員会社会教育課(☎九七一六二一)へ。

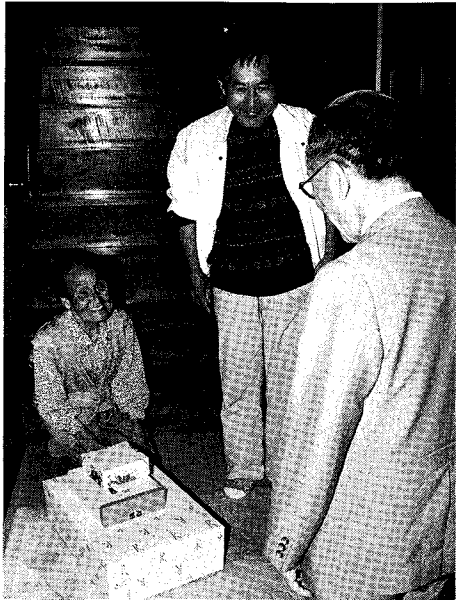


地区体育祭

コミュニケーションづくりにも一役

伊草地区では、各行政区対抗で得点を競い合うとあって、選手の方々は真剣そのもの。応援席からも熱のこもった声援が送られ、地域のコミュニケーションづくりにも大いに役立っています。

地区体育祭が、九月二十七日に各小学校を会場に一斉に開催されました。



九月二十五日・二十八日に、老人福祉週間の一環として町長が八十八歳以上のお年寄り八十二人を訪問し、励ましの言葉と記念品を贈りました。

町長の「いつまでもお元気でいてください。敬老会でまた会いましょう。」という激励の言葉に、お年寄りの皆さんはとても喜んでいました。

町長の励ましに大喜び

まちの話題

身近な情報をお寄せください。

秘書広報係 ☎97-1811(内13)

町民芸

俳壇

選者 猪鼻 ハル
季題 初鴨・落水

特選

落水夜の静寂をこくこくと
水口へ来て押し合へる落水水
初鴨の夕漣に紛れけり
濁声の二声三声鴨来る
落水してしばらくは畦に佇ち
田向いに声をかけ合ひ水落とす
初鴨の群に遅れし一羽かな
田の尻へ一蹴入れて落水水
落水水口守る鷺の居て
初鴨のためらひがちに湖の上
落水水疲れも共に落としけり
隣田も音のしてをり落水水
大堰を切れば一邑水落す

入選

吹 塚 原 はる江
上 伊 草 恩 田 花 子
長 楽 宇 津 木 晶 園
中 山 吉 田 き い
下 八 ッ 林 田 中 た け
吹 塚 吉 川 と よ
平 沼 辻 米 子
中 山 馬 橋 三 千 代
下 八 ッ 林 長 島 ふ さ
上 猪 田 中 秋 月
正 直 島 村 千 枝 子
平 沼 矢 部 り や う
平 沼 小 久 保 静 水

選者評

三十四人のかたの句を拝見しました。特選第一句は、闇の水音が鮮明に聞こえてくるようです。自然の営みは昼夜を問わず続きます。下五の表現が効いています。特選第二句は、実写して余すところがありません。農に生涯をかけたかたの句かと思われまふ。特選第三句は、沼の夕景色かと思われまふが、心待ちにしていた初鴨を眺めているうちに夕闇に紛れてしまったというあたりをよく省略して句にまとめあげ見事です。総じて落水水の方が実感の句が多くて甲乙つけ難く苦勞しました。そのため、入選の句は出句順にしてあり、一番も十番も同格ですのでご了承ください。

自句 今年もまた恙もなく水落とす
初鴨の沼に落ちつき見えにけり

応募要領

季題 11月号……梅擬・残る虫 猪鼻 秋生 12月号……冬めく・冬の雁 田島冴城子
締切 前月末日(厳守)までに、住所・氏名(俳名の場合は本名も記入)・電話番号を明記して1人3句以内で秘書広報係まで。

秋の全国交通安全運動にちなみ、町交通安全母の会連合会と交通安全協会川島支部の皆さん30人が、釘無地内の県道で交通安全街頭キャンペーンを行いました。

参加した皆さんは、通行中のドライバーに安全運転を呼びかけるチラシやおしぼりを配布し、交通事故防止を真剣に訴えました。

無事故を願って 街頭キャンペーン





楽しい敬老の日 —— 中山公民館

9月15日の敬老の日に、中山公民館主催の敬老会が中山小体育館で行われました。

この日招待されたのは、70歳以上のお年寄り440人。各種団体の歌や踊り、中山小児童による敬老作文の朗読など盛りだくさんの出し物が披露され、お年寄りは楽しい敬老の日を過ごしました。



くらしの情報

お問い合わせは、役場の各担当課へ

☎九七七一八二一

お知らせ

母子・父子家庭児童就学支度金支給制度

県では、小学校または中学校に入学する児童を養育している母子家庭のお母さん及び父子家庭のお父さんに対して、入学準備に必要な費用の一部として就学支度金を支給します。

支給要件

○市町村民税が非課税であること

○生活保護受給中でないこと

支給金額 小学校・一万二千円 中学校・一万八千円

申請 支給申請書に必要事項を記入のうえ、十二月十

日(木)までに福祉課へ(支給申請書は福祉課に用意してあります。)

詳しくは、福祉課(☎内二八)へ。

パスポートが変わります

十一月一日申請分から全国一斉に、機械読取式旅券(MRP)となります。また、手数料も八千円から一万円になります。これにより、申請に必要な書類のうち次の二点が変更されます。

○申請書の様式が変わり、今までの申請書は使えません。新様式は、写真貼付欄の下にあらかじめパスポート用のサインをするようになつており、パスポート受取時のサインは必要なくな

相談コーナー

お気軽にご相談ください。

行政法律相談

行政機関などの業務に関する苦情、法律的な悩みごとの相談に応じます。

とき 11月10日(火) 午前10時から午後3時まで
ところ 中央公民館

相談員 弁護士、行政相談員

心配ごと・結婚相談

日常の心配ごとや結婚についての相談に応じます。

とき 11月10日(火)・25日(水) 午前9時から正午まで

ところ やすらぎの郷
相談員 民生・児童委員、結婚相談員

教育相談

子どものしつけ、学校がいなどの相談に応じます。

とき 11月20日(金) 午後3時30分から5時まで
ところ 教育相談室(コミュニティセンター内)

相談員 教育相談員
※電話での相談も随時受け付けます。(☎97-1685)

募集

町立川島幼稚園園児募集

町立川島幼稚園では、平成五年四月からの入園児を次のとおり募集します。

対象 四歳児(昭和六十四年四月二日から平成元年四月一日までに生まれ、平成四年十月三十一日現在川島町に住所を有する幼児。た

催し

年金相談

毎年十一月は、国民年金制度推進月間です。町では、川越社会保険事務所と共催で、将来の年金を確実かつ有利に確保していただくために、次

のとおり年金相談を行います。とき・ところ

十月二十八日(水)・中山公民館 十月二十九日(木)・伊草公民館 いずれも午前十時から午後三時まで

携行品 年金手帳、健康保険証、認印、勤務先・期間の履歴(既婚者は配偶者分も持参してください。)

医療福祉相談会

(社)埼玉県医療社会事業協会では、病気や障害により生じた患者・家族の生活上の諸問題について、次のとおり医療福祉相談会を開催します。

とき 十一月八日(日) 午前十時から午後四時まで
ところ 丸広百貨店川越店

費用 無料
電話相談 当日のみ(☎〇四八一六四五―一四〇一) 詳しくは、同協会事務局(県衛生部保健予防課内 ☎〇四八一八二四―二二一内二六三六)へ。

国の教育ローン

国の教育ローンは、高等学校や大学、専修学校などに入学または在学するかたの家庭の経済的負担を軽減するため、進学・在学に必要な資金を低利で融資する制度です。

対象 高校、短大、大学、専修学校、各種学校等に入

ご存じですか

檢察審査会

わたしたちが交通事故・詐欺・窃盗などの被害にあった場合、警察に訴えたと捜査が始まり、その捜査に基づいて檢察官が加害者に処罰を求め

ファミリーコンサート

県では、家族みんなで楽しめるファミリーコンサートを次のとおり開催します。

とき 十一月二十二日(日) 午後二時開演・

ところ 東松山文化会館

出演者 東京室内管弦楽団(指揮・いわくぼささお)、ソリスト・川田正子ほか

内容 クラシックの名曲、日本の歌など

入場料 千五百円(全席指定)入場券 東松山文化会館ほかプレイガイドで

詳しくは、県自治文化課文化事業係(☎〇四八―八二四一―二二一内二〇八一)へ。

チャリティーダンスパーティー

川島町社交ダンス連盟では、第三回チャリティーダンスパーティーを次のとおり開催します。奮ってご参加ください。

とき 十一月十四日(土) 午後六時三十分から九時まで

ところ 広域福祉会館

費用 千円 詳しくは、中川敏行さん(☎九七―四六七六)へ。

ひといちメモ



土鍋の扱い方

これからは、鍋料理のおいしい季節です。鍋料理には、土鍋が付きものですが、重たく、質の柔らかい焼き物なので、ちよつとした不注意でもヒビが入り壊れやすいのが欠点です。

新しく買った土鍋は、まず火に慣らしましょう。土鍋にたっぷり水を入れ、トロ火でゆっくり沸かし、最初から強火にしないことです。水の代わりに米のとぎ汁を使うと、土鍋特有の土臭さが抜けます。

また、土鍋の外側は素焼きでもういため、ぬれたまま火にかけずに、水気をよくふき取るのを忘れないようにしましょう。